

## 「障害者のつくる品物フェア」が人気です。

本日、杉並区役所（阿佐谷南1-15-1）で、「障害者のつくる品物フェア」が開催され、区内の16カ所の障害者施設で、利用者が作った調理パンやクッキー、Tシャツ、ビーズ製品などが販売され買い物客で賑わいました。このイベントは、こうした商品の販売を通して、障害者の理解を深め、より多くの人に商品を知ってもらい、障害者の工賃アップにつながるよう定期的に行われているものです。

23日、杉並区役所1階ロビーには、障害者施設の利用者が丹精を込めて作った商品が並びました。調理パンやクッキー、やさしい風合いのストールやTシャツも、利用者が染めたものです。丁寧な仕事が口コミで広がり、リピーターも増えています。今日も、区内にある27の障害者施設のうち16カ所の施設が持ち寄った商品が並ぶと、11時の開店と同時に、お気に入りの商品を手に入れようとする買い物客で賑わっていました。

買い物を通して、障害者と区民が会話を交わす、笑顔を交わすこと。そして、障害者の理解を深め交流の輪を広げることが最も大きな目的です。リピーターの中には、顔馴染みとなっている方もいて、会話を楽しんでいました。

区担当者は、こうした機会を捉えて、多くの事業者や団体に、障害者施設の可能性を伝えることで、障害者が作る商品の販路拡大や障害者による書類の封入や段ボール箱の組み立てなどの軽作業を受注し、そうすることで工賃をアップさせたいと考えています。



### 【問い合わせ先】

保健福祉部障害者生活支援課 電話 3 3 1 2 - 2 1 1 1（内線 2 2 7 4）